

研修生サポート担当者の声

日本人の立場に立って、日本人の考え方が出来るようになりたい。



- 名前：NGUYEN TIEN BACH (グエン・ティエン・バッチ)
- ニックネーム：バッチくん
- 出身地：ベトナム／ハノイ
- 自分の性格：好きなことには情熱的
- 趣味：スポーツ、サッカー、柔道（7年やってました！）
- 日本滞在期間：約7ヶ月（2007年7月入国）

今の自分は“0（ゼロ）”

僕が日本に来た目的は日本のビジネスを勉強したいってこと。ベトナムで日本人のお客さんを相手に仕事をしていたけど、日本に来て日本人と働くことは全然違う。

お客さんとの話し方も違うから、前は自信を持っていたけどどんどん自信を無くして行ってしまった。

だから今の自分は“0（ゼロ）”だという意識で働いています。

“0”になると相手の良いところを勉強しやすい。逆に「私は偉い、経験がある！」という意識だと相手の良いところを勉強できなくなる。

ベトナム人の考え方は日本人とちょっと違うから、出来れば僕は日本人の立場に立って、日本人の考え方が出来る様になりたい。なんでもこれから勉強しないと分らないなあと思

います。日本で日本の事をすべて勉強したい。

仕事で感動したこと

ある企業さんの社長は研修生を大事にしている、研修生の考えがもっと分かるようにと、言いたい事を母国語で書いてもらいそれを私が翻訳したんですが、一人の研修生がとても感動する話を書いていました。

その研修生は日本語が非常に上手で、仕事も頑張っている。なぜそんなに頑張っているかというと、もっと日本語のこと、日本のことを分かってほしいから。彼の家族はとても貧乏です。彼は長男で弟が2人いますが、弟は2人とも学校へ行けないくらい家にお金がなかった。彼はそういうことを見て、2人の弟を学校へ行かせるために日本語を、仕事をすごい頑張っている。だから社長はそれを読んでとても感動していました。

研修生たちは日本に来て日本の良いことをたくさん勉強できる。ベトナムはまだ発展中の国で、日本はもう発展してるからね。研修生が日本に来る一番の目的はもちろん技術を学ぶことですが、もっと大事なことは外国まで来て視野が広がること。技術も身につくし視野も広がる、本人も頑張っていればすごい良いチャンスがあると思います。さっきの彼の場合は頑張っているし優秀な研修生になるのは当たり前だと思う。ベトナムに帰ったら、家族はすぐお金持ちになる可能性もありますよ。僕もそういった研修生を見ると、これからもっと日本語を頑張らないといけないなと思う。

今後の課題

企業さんを訪問したとき。仕事を始めたころはなかなか話が出来ず、話せてもいつも仕事の事ばかりだった。初めて企業さんと話すときは企業さんも「バッチさんが何を話しているのか分からない」って顔をしていた。

でもちゃんと話せるようになると、自分からどんどん話すようにして、段々仕事にも慣れると仕事以外のいろんな話が出来るようになってきた。どんな企業さんでも仕事の話の後で、他の話をゆっくり出来るようになってきた。

いろいろお話しできると、仕事の話も柔らかく出来る。今でもまだちょっとだけだけど、頑張ってお話できるようになりたいね。

信用を得るっていうことはやっぱり一番大事なこと



- 名前：葛見 幸重（くずみ ゆきしげ）
- ニックネーム：葛見パパ
（若いスタッフからこう呼ばれています。頼れるリーダーの意味を込めて？）
- 出身地：日本／佐賀県
- 自分の性格：のんびりしているところもあるかと思えばせかせかしているところもある
- 趣味：読書、ゴルフ

僕が一番嬉しいこと

僕は普段研修生の受入れ企業、つまり組合員さんを訪問して企業と研修生との間をとりもつ橋渡しの役目をしているんだけど、研修生が企業さんに配属されて3～4か月してある程度作業に慣れたときね、「あの子たちに来て貰って良かった」というそんな言葉を企業さんが言ってくれるときがある。それを聞いたときが僕は一番嬉しいね。

そりゃあ中にはもちろん不満を言われるところもあるけど、やっぱり昔より今の方がうちの体制もより整ってきて、アフターフォローもしっかり出来てきたから、そういうのは最近あんまり聞かなくなったね。それで来てくれて良かったって時々耳にするようになってきたから、やっぱりそれが嬉しいな。

もちろん、研修生たちが技術習得や日本語の勉強にと頑張ってくれているからそう言われるんだよね。日本で働く中、企業さんを大事に思う気持ちも自分の中にしみこんでいるかな。言葉にできないけど大事な気持ちだと思う。

驚かされるのは彼らの行動力

豊中から明石や姫路まで自転車で行ったとか、驚かされるのは彼ら、研修生の行動力ね。日本に来たばかりでも自転車でほんと信じられないくらい遠くまで行ったりしているのはちょいちょい聞くけどね。自分たちであそこのスーパーが安いとか、とにかく自分たちが企業さんに配属になって1ヶ月したら自分の周辺の事は掴んでるんじゃないかな。行動力の広さというか機敏さというのか、その点にはビックリする事があるね。

基本的なことだよな、相手を大事にするってことは

ポリシーって言ったら大げさだけどこの業務をする上で受入れ企業さんに喜んで頂きたいって気持ちは常に持っているのはあるな。私たちの間では顧客視点とっているけど、基本的なことだよな。相手を大事にするってことはな。

あと気を付けていることは約束をきちっと守るってことかな。もちろん迅速に対応するってことも。特に意識はしないけど、やっぱり企業さんのことを考えれば何か問題が起きた時すぐ対応するように動くだろうしね。優先順位に迷う時もあるかもしれないけど、何かあった時はすぐに対応しようって気持ちは持ってるわけだからね。

信用を得るってことを常に考えるよね。信用を得るっていうことはやっぱり一番大事なことだよな。

研修生が3年後、無事に帰国できるように



- 名前：趙 海文(ちょう かいぶん)
- ニックネーム：趙くん
- 出身地：中国／上海
- 自分の性格：結構明るい、立ち直りが早い
- 趣味：スポーツ、サッカー、野球（阪神ファン）
- 日本滞在期間：10年（1998年4月入国）

仕事をする上でのポリシー

研修生が3年間、無事に日本で研修を終えて円満に帰国出来るようにすること。途中帰国とかトラブル、近所に迷惑をかけたとかは極力避けたいですね。そのために研修生と会話する時は友達のように会話しています。特に上からモノを言ったり、強い口調で言ったりするのは基本的にはしません。反感を買ってしまうんじゃないか、という配慮で基本的には友達のように喋ります。当然怒る時は怒りますよ。それは教育しないと分からないから。

例えば、ある実習生で給料を上げてほしいって要望がありました。給料を上げてほしいのは分かるんですけど、じゃあ私はこういう作業が出来るとか、この人より出来たとか、そういうのがないとダメでしょう。だってそこは企業さんが評価するんじゃないですか。この人は良く出来るから給料上げようとか、基本的なスタンスがあるにも関わらず自分は何にもしていない。実際企業さんに聞いたら仕事は普通やし、いっぱい努力している訳でもない。

特に中国の研修生はお金に対する執着が強いですからね。でもその代りに何か出来たかっと言うたら何も出来てない。研修生は基本的に僕より年上の人が多いです。なので逆に「年

下の僕から教育されて恥ずかしくないの？」って言ったことがありますよ。それは自分で感じる事じゃないかなと。相談は乗りますけど勝手にそういうことをしたら怒ります。

日本語だけでなく文化も身に付けてほしい

大事なのは日本語だけじゃないと思うんですよ。3年間も暮らす訳ですから、その国の文化を理解しないでやっていくのは難しいです。やっぱりその文化を大事に、日本語も大事、その後やっと技術が身に付いてくるんじゃないかなと思います。

技術力がいくらあってもその国の文化を吸収できなかつたら結局、どっかでトラブルが発生したりする。

例えば、特に日本でよく言われるじゃないですか？挨拶が大事って。現場の実務がいくら出来ても挨拶も出来ない人だったら...評価、されないじゃないですか。だから研修生でも同じように、礼儀正しく。

そういった文化も身に付けてくれるように、気づいたら基本的にその場で言いますね。わざわざ教えはしないけど気になったら、ちょっとおかしいじゃないと思ったらその場で言いますね。例えば上司に対して「ありがとう。」じゃなくて、「ありがとうございます。」と最後まで言いましょう、とか。日本語を早く喋るよりも、ゆっくり喋ってハッキリ相手に聞かせること。「あざ〜あす！」でも確かに相手は、「ああ、ありがとうございますって言うてるんやろう。」と思うでしょうけど、そこで敢えてゆっくりでもいいから「ありがとうございます。」とハッキリ言う。じゃあそれで発音悪くても自分の気持ちは相手にきちんと伝わる、そのことが大事かなと思います。

満足して貰えるフォローを

もっと企業さんが満足できるようなフォローが出来れば良いなと思ってます。

どの面についても。日本語にしても、仕事にしても。

ウチの組合を頼ってきて、そこで信用してもらってウチから研修生を受入れている訳ですから。

そこでいろんな工夫をしながら企業さんに満足を与えていければ良いなと思ってます。

企業さんと研修生、双方の満足を



- 名前：荘 国強(そう こくきょう)
- ニックネーム：荘さん
- 出身地：ベトナム／北部ビンフック省
- 自分の性格：恥ずかしがり屋かもしれませんが。でも仕事の時は大丈夫
- 趣味：読書、子どもと一緒に遊ぶこと
- 日本滞在期間：12年（1996年9月入国）

研修生たちの親代わりとなって

研修生の幸せの為に。それとまた研修生と企業さんから信頼を得られるように努力しています。企業さんと研修生が3年後、満足して無事に帰れるように。こういうことを思って仕事をしています。

研修生たちの親代わりとなって悩み事や心配事のフォローをしています。例えば、一日の研修が終わったあとに研修生から電話がかかってくる人が多いです。多い時は一晩で5～6件でほとんど家に帰ってから。遅くまで仕事する時は僕が職場から電話することも多いですね。

電話で一番心配してるのは健康状態について。病気にかかった時は不安になっているのでその相談を受けます。それと家族と離れ離れになっているので、ホームシックになって寂しい思いをしてかかってくることもあります。企業さんから病気にかかった子がいると連絡を受けたら、その状況確認の為に電話して、慰めたり対応を行っています。そうしないと本人達も不安でストレスが溜まります。あとは日本語の勉強をするように言っています。日本

語が分かると日本での生活も楽しくなりますから。出来ればストレスが溜まらないように、楽しい生活を送ってもらえるように努力しています。

彼女を紹介して下さい！

研修生で一番面白い話は彼女を紹介して下さいと言われることですかね(笑)。冗談で、ですけどよく言われますね。例えばウチの組合が受入れている研修生で、女の子がいればその子を紹介してほしいと言われます。

確かに分からないこともないですね。やっぱり彼女を作りたいって年頃の子も多いです。たくさん女の子を知っていれば紹介してあげたいですね(笑)。やっぱり話をするだけで本人達も楽しいですから、おそらく日本でも楽しい生活を送れるとも思います。ただ女の子のことばかり考えて研修に身が入らなくなるのは困ります。例えば親しくなると遠い所であっても会いに行ってしまうから、毎週会いに行くとなると企業さんや私達も心配ですし、研修に支障が出てしまつては非常に困ると思いますね。

失踪防止のために

ウチは失踪数は少ないですが、それでも1件でも失踪の数が減る様にいろいろと策を考えています。ありがたいことに、今受入れ中の企業さんは生活面でのバックアップや整った生活環境を与えてくれています。研修中も本当に面倒をよく見てくれます。研修生制度は失踪に対する企業さんの心配が一番大きいですから、その失踪防止策をどういう風に立てるかですね。

研修生は日本に技術を学ぶために来ていますが、それと同時に日本語、言語も学ぶことが出来ますし、頑張れば家族への助けにもなります。出来ればいろいろな工夫をして、本人の思いどおりにスキルアップや評価をしてもらえるように何か考えてあげたいですね。研修生も満足すれば失踪しません。その満足は、企業さんと研修生の両方の為に関後自分で工夫してやって行きたいですね。

それと国に帰ってからの不安で、おそらくもうちょっと日本に居たいということでも帰国前に逃げるという可能性もあります。将来が明るいであれば、法を犯してまで、ブラックリストに入れられてまで逃げはしないとします。だから例えば技術だけでなく日本語を一生懸命して、ベトナムに帰っても困らずに、いろんなことを見つけられるようにアドバイスするとか。10~20年先の事を考えて、将来の為に日本で学べる事がたくさんありますから、学んで持って帰ってほしいですね。日本人の

仕事に対する姿勢について特に勉強してほしいですね。彼らが日本でその事をしっかり勉強することによって、帰国後、将来的にどこか大手の企業に就職しようとしてもすぐ採用してくれるんじゃないかなと思います。日本で勉強したことを逆に人に教えることも出来ます。それも失踪防止の一環として彼らに話をしてあげるべきではないかなと思います。

帰ってからのフォローアップが不可欠ですね。